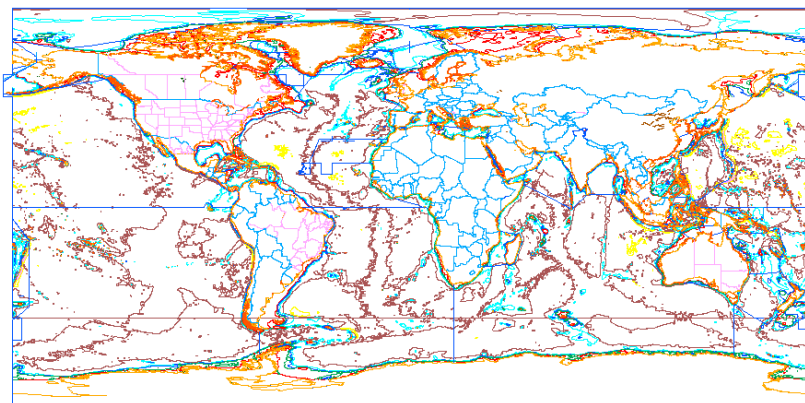
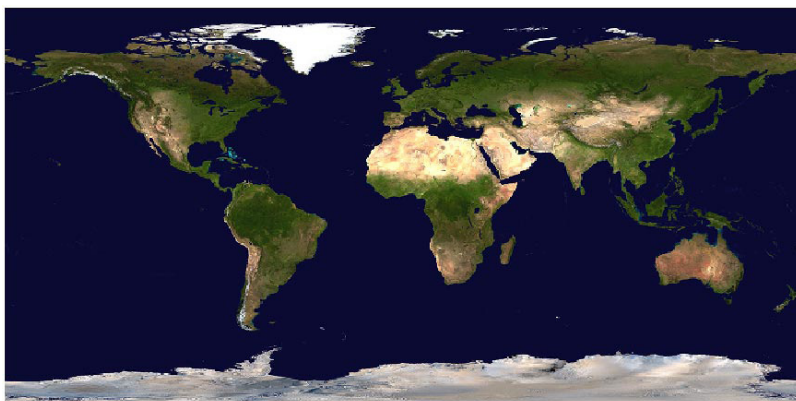


グローバルデータセット

マイクロイメージ社はグリニッジ子午線を中心にした3つのグローバルデータセットを用意しました。それはマイクロイメージ社の TNT プロジェクトファイル形式で1枚のDVDで配布しています。内容：世界の1km解像度カラー画像1種類、世界の主題別地図データ(縮尺100万分の1)、世界1km解像度標高データ。それぞれは世界測地系 WGS1984の緯度/経度でジオリファレンスされたデータです。各グローバルデータセットの全クレジットと詳細情報はDVDの中にあります。

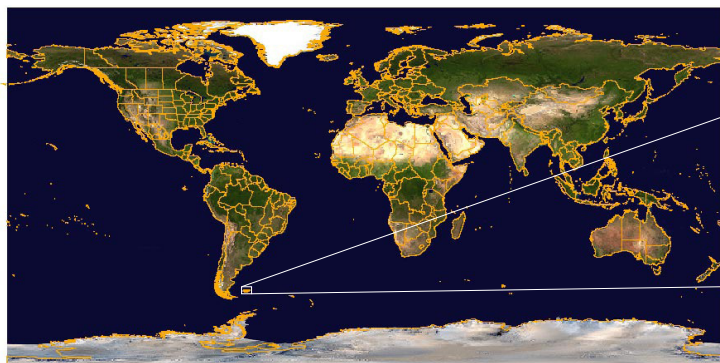
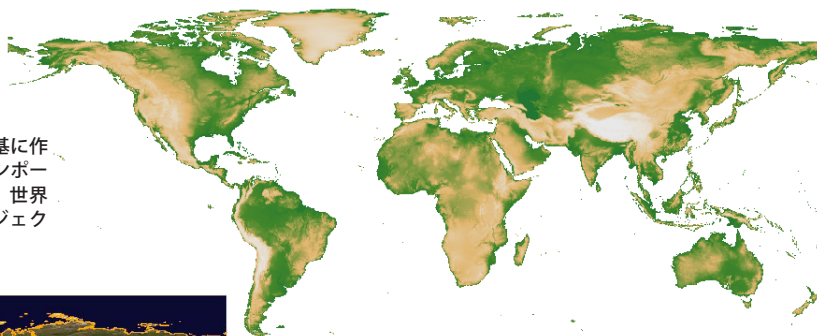
TNT Global Data Setの参照には
TNT製品のバージョン6.9以降が必要です。

世界1kmカラー画像は、NASAゴダード宇宙飛行センターで集められたMODIS衛星データによるVisible Earth (Blue Marble (ブルーマーブル): Land Surface, Shallow Water, and Shaded Topography)から作成したものです。これをさらにTNTmipsで、世界的範囲のジオリファレンスされた1つのTNTラスタオブジェクトにモザイクしました。マイクロイメージ社は画像を、損失無し JPEG2000圧縮を組み込んだTNT製品のプロジェクトファイル形式で配布しています。



世界の主題別地図データ(縮尺100万分の1)はVMap0データから作られました。VMap0はアメリカ国家地球空間情報局(NGA、前のNIMA)のDigital Chart of the World(DCW®)を更新、改良したものです。それは4個のライブラリにまとめられ、4地域のデータセットに分割されています。これらのライブラリには様々なテーマの地図約13万ファイルがあります。各種境界線、標高、水路網、産業、地形、人口、輸送網、施設、植生およびデータ品質などです。TNTmipsを使って、これらの全ファイルをテーマに合わせていくつかのグローバルベクタオブジェクトを含む10個のTNTプロジェクトファイルに構成し直しました。左図は、境界線をテーマに作成された8個のグローバルベクタオブジェクトを表示したものです：行政区、政治的境界線、海洋/海、海岸線、等深線、バリアライン図形、政治的境界線のポイント図形、境界の範囲を説明するテキスト。

世界1km解像度標高ラスタオブジェクトは全地球30秒標高データ(GTOPO30)をもとに作られました。GTOPO30は、サウスダコタ州スーフールズの米国地質調査所EROSデータセンターが中心となり、3年がかりの共同作業の結果得られた全地球数値標高モデル(DEM)です。GTOPO30は、様々なラスタおよびベクタのデータを基に作られました。データはTNTmipsで33個のデータとしてインポートされ、モザイクを行い、カラーマップを適用しました。世界1km解像度標高データは損失無しJPEG2000圧縮のプロジェクトファイル形式で配布されています。



TNTmipsで世界のカラー画像上に重ねた主題地図オブジェクトの中の政治的境界線(左図)、そのフォークランド諸島またはマルビナス諸島の拡大図(上図)。どれくらい上手く重なっているかが分かります。東フォークランドまたはSoledad島の海岸から離れたところにある島のデータティップが表示されています。